

元気



「ありがとう。元気です。日野町」と元気な声で復興をアピールする子どもたち

震災以来、今まで不通となっていた久住地区と黒坂地区を結ぶ県道菅沢日野線（約3・5^{キロ}）の復旧工事も終わり、12月5日、開通式が久住地区で行われました。

式には、片山善博県知事や自治体関係者、地元の住民ら約50人が出席。安全祈願をした後、テープカットをして開通を祝い、全員で復旧した道を確認しながら歩きました。

その後、久住集会所に移動し、地元住民と片山知事との



久住地区と黒坂地区を結ぶ県道菅沢日野線が復旧

復旧か所を確認しながら歩く片山知事、町長ら関係者

愛着ある道がようやく開通

意見交換会が開かれました。片山知事は「最後に残ったのがこの道路。地区の皆さん

には不便をかけた。これまで地域を支えてくれたことに感謝します」と話しました。また、久住自治会長の上谷春さんは「心の傷はなくせるものはありませんが、今日は道が開通して、一つの節目を迎えられました」と地域を代表してあいさつしました。

同地区に住む遠藤武寿さんは「この日を待ちわびていました。これで不便さが解消され、普通の生活に戻れます」と開通を喜んでいました。

県道菅沢日野線は、地震で1・4^{キロ}にわたり土砂崩壊や路面亀裂があり、今まで不通になっていました。工事中に土砂崩れなどが発生し復旧工事は難航。事業費約12億7千万円を投じ、3年2か月ぶりに開通しました。

元気を出していきたい



久住自治会長 上谷 春さん

久住と黒坂を結ぶ生活に密着した愛着のある道が開通して喜んでいきます。これです少しは震災からの不安がいやされました。これからも元気を出していききたいと思ひます。